（様式7-1）

水辺・絆プロジェクト2023
# 事業実施報告書

| 事業名 | 水辺の地域資源を活用した誘客プロモーションビデオ制作事業 | 実施場所 | 岩手県陸前高田市（りくぜんたかたし） |
|---|---|---|---|
| 申請者 | 一般社団法人陸前高田市観光物産協会（りくぜんたかたしかんこうぶっさんきょうかい） | 関連河川名 | 気仙川（けせんがわ）水系気仙川（けせんがわ）、広田湾（ひろたわん）（高田松原（たかだまつばら）周辺） |

## 1. 目　的

本事業は、東日本大震災津波によって甚大な被害を受けた岩手県陸前高田市に新たに整備された河川や砂浜、及び水辺周辺を地域資源として活用し、誘客を図るためにプロモーションビデオ（以下PV）を制作するものとする。
　陸前高田市内には海、川、沼をはじめとする多くの水辺が観光資源として存在する。また、これらをみちのく潮風トレイルの公式ルートが繋ぎ合わせており、みちのく潮風トレイルを導入の手段としたPVを制作することで、河川空間として多面的な広報展開ができる。制作したPVを観光施設で上映するとともに、WEBプラットフォーム（YouTube等）で全世界に発信することで水辺周辺を訪れる観光客の増加を促し、地域経済の活性化への貢献を期待するものである。
　現計画では、水辺の春夏秋冬の魅力を映像で発信するため、2023年4月下旬頃から同年12月頃まで撮影を行う予定である。尚、撮影の過程では水辺の地域住民にもPVの出演者として参画を促し、地域コミュニティの再生、延いては『水辺から地域を元気にする』といった効果も併せて期待する。

## 2. 実施体制（結果報告）

＜主たる実施団体＞
一般社団法人陸前高田市観光物産協会
＜協力＞
■特定非営利活動法人みちのくトレイルクラブ
■環境省大船渡自然保護官事務所

## 3. 実施内容（開催日時・場所 など）

第1回撮影：箱根山の桜並木【4月】
第2回撮影：要谷漁港の穴空島とウミネコ【5月】
第3回撮影：高田松原海水浴場、古川沼、気仙川【8月】
第4回撮影：小友町の水田、矢の浦漁港、黒崎仙峡展望台【9月】
第5回撮影：黒崎神社、長部漁港、すずめの戸締り聖地【11月】
第6回撮影：オフィスシーン【12月】
第7回撮影：川原川【12月】

その他、川や市街地を含めたシーン撮影を複数回実施した。

## 4. 参加対象・参加者数

| | |
|---|---|
| 参加対象： | 一般社団法人陸前高田市観光物産協会職員2名、その他地元企業職員 |
| 参加者数： | 約10名 |

## 5. 創意工夫した点・配慮した点・苦労した点　など

・陸前高田市の美しい水辺の風景を切り取るだけでなく、実際に「みちのく潮風トレイルを歩いてみたい」や「海や水辺に行ってみたい」と思って頂けるような動画の構成にした。
・春夏秋冬それぞれの陸前高田市の自然や風景を撮影するため撮影日を複数回設け、各季節の特徴を動画に収められるよう努めた。

位置図




## 6. 総評（実施効果や今後期待される効果、今後に向けての反省点・改善点など）

・動画の完成とYouTube上での公開は2月頃を予定しているが、想定される効果としては「観光客及びハイカーの誘客促進」が期待される。
・また、市外からの観光客だけではなく、市内在住者が海や水辺に親しみを持つことや、利活用を考える契機になると思われる。
・さらに、東日本大震災の教訓と、防災・減災のまちづくりを進めてきた陸前高田市の現在を様子を動画で発信することにより、震災伝承や復興状況の発信にも繋がると考える。

## 7. その他感想等（ご自由に記入してください）

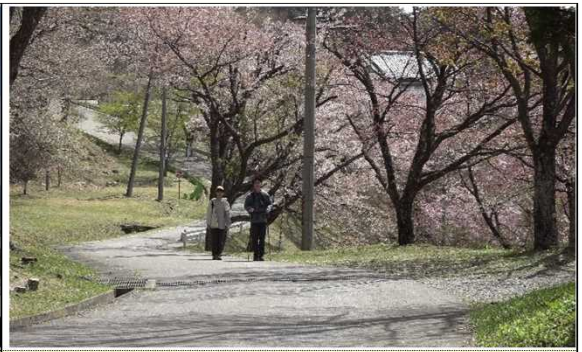
・令和元年6月に青森県八戸市から福島県相馬市まで全線開通したみちのく潮風トレイルの認知度が上がってきており、トレイルを歩くハイカーも年々増加傾向にある中で、陸前高田市ルートの魅力や海・川の風景を広く発信できる機会を頂き、心より感謝申し上げます。
・今回作成した動画をYouTubeにアップロードして終わりではなく、今後は海と川の利活用にも繋げられるように体験プログラムの開発などに繋げていきたい。



水辺から地域を元気に
水辺・絆プロジェクト

# 事業実施報告書（写真）



| | | |
|---|---|---|
|  |  |  |
| 広田湾の牡蠣筏 | 高田松原海水浴場の背景に撮影 | 春の桜並木を歩く様子を撮影 |
|  |  |  |
| 海沿いを歩く風景 | 長部漁港を歩く様子 | 夕暮れの気仙川沿いを歩く様子 |
|  |  |  |
| 気仙川と中心市街地まちなか | 自宅シーンの撮影① | 自宅シーンの撮影② |